

浜松市議会議員



田口 章

後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053 - 447 - 3820
夜 053 - 440 - 7100

創ろう！元気な浜松

平成 19 年 7 月

“マニフェスト”を積極審議

浜松市議会 6 月定例会報告

浜松市議会 6 月定例会が、8 日～29 日の会期で開催されました。

今議会では、16 件の「条例案(一部改正・廃止・制定)」が成立。

この中には、市長マニフェストに盛り込まれていた「退職金ゼロ」「市長公舎の廃止」「フォルテの“売却を視野に入れた”指定管理者の導入」などがありました。

代表質問や一般質問では、マニフェストの今後の進め方に議論が集中しました。

市長は「財政的な検証はこれからだが、平成 20 年度予算で取り組めるものは実施し、その他については市長在任中の工程表を示す」としました。

私も、選挙戦で「徹底した行財政改革」「元気な浜松づくり」を訴えてきましたので、しっかりと行政施策のチェックを進めていきます。

市議会論戦より・・・



1. “一市多制度”か“一市一制度”か

(市長コメント)

新市の一体感を醸成するためにも、“ひとつの浜松”を基本に市政を運営していく。そのためには制度は一律であるべき。しかし、広大な浜松市は、地域ごとに地形や社会資本整備の状況が異なることから、地域特性を活かした措置は、理由を明確にして認めていく。

(解説)

“マニフェスト”の中で、最も関心の高かった項目は、“ひとつの浜松”についてでした。

旧浜松市以外の地域協議会や区協議会では、委員から、“一市多制度”の存続を求める声が強く出されています。

市長の基本的な考え方は、一言で言えば、「ひとつの浜松」を基本にしながら、地域の声も聞いていく。「制度を残す理由が説明できれば存続する」という姿勢だと思えます。

市長コメントからは、“行財政改革”を旗印に、バッサバッサと大鎧を振るような、“怖いイメージ”を持っていたみなさんへの配慮がうかがわれましたが、逆に、他地域の市民に理解を得られないような制度は、一制度にそろえていくということです。

いずれにしても必要なことは、まず、情報公開ではないでしょうか。

私自身、まだ、どんな多制度があるか、事務事業の点検を行っていませんが、今後、検証していきたいと思えます。

2. “第二次行革審” スタートへ

第二次行革審の設置に関する条例が可決されました。しかし、この提案に対し、浜松市議会として49年ぶりに「修正案」が議論されました。

論点は大きく2点。最大の論点は、諮問事項の中の“総合計画に関する事項”について、どこまで行革審が踏み込むかであったと思います。

総務委員会での大激論の後、最終的に、「総合計画」の中でも「基本構想」については、策定の経過を踏まえ尊重すべき…、という“委員会としての修正案”を提案し、これが可決されました。(総合計画についてはコラムを参照ください)

議会としては「諮問の範囲をはっきり定義しておきたい」ということですが、市長は、代表質問の答弁で、「今後8年間の『基本構想』は尊重しつつ、毎年立案する『戦略計画』で、政策実現していく。そして、前半4年間の『都市経営戦略』の状況を見つつ、後半4年間の『都市経営戦略』を検討していく(答弁概略)」と話していましたので、私は、あえてこだわることはないとも思いましたが、修正案に賛成しました。

2番目の論点は委員構成でした。「委員(10人)の中に“行政経営の専門家”を入れるべき」という意見がありましたが、委員会では否決されました。

私は、“行政経営の専門家”と言っても、机上の空論は浜松のチェックには必要ないと考えます。

都市間競争の中、浜松を真に競争力のある、より

良い街にしていくには、これまでの行政の常識にとらわれたり、他の政令市と相对比较をしたりするのではなく、浜松市の大きな財産である“グローバルスタンダードの視点”でチェックすることの方が効果的、かつ重要だと考えます。

条例案の中には、必要に応じて意見を聞くことができるという項目もありますので、テーマによっては、実務経験のある改革派元知事(例えば、三重の北川さんや、鳥取の片山さん、岩手の増田さん)などに意見を聞いてみたいですね。

今後は、議会も、「行革審」からの提言や、市長提案に対して、しっかりと応えていかなければならないと思います。議会のあり方も問われています。

「第一次浜松市総合計画」のイメージ (はままつ やらまいか 創造プラン)

基本構想 (8年間)	本市の基本 理念や将来 像を示すもの	19 ~ 26
都市経営 戦略 (4年間)	将来像を実現 する都市づくり の戦略	19~22
戦略計画 (単年度)	目標の達成に向 けて毎年度策定 される実施計画	

【紙上コラム】

ある日の訪問者

「あの～、田口さんのお話を聞きたいんですけど…」
「市役所へ行ってもいいですか？」

市内の中学校に通う“K君(2年)”が議会訪問にきてくれました。

「関心のあるテーマについて、携わっている人の話を聞く」という授業の一環のようで、鋭いインタビューにたじたじでした。

この日は議場を使っていない日だったため、事務局に依頼して、議場内に入れてもらいました。K君には私の議席に座ってもらいましたが、政治に関心を持ってもらえたかなあ…？



* みなさんもお気軽にお越しください。市民クラブ会派室は市役所8階南側です

3. 「30人学級」実現はいかに？

(市長コメント)

「30人学級」については、一般的な定義である「30人を超えたらクラス編成を2つにする」という固定的な考え方ではなく、「児童一人一人に目が行き届く教育」「少人数指導」を目指す。

浜松市は「支援員・補助員制度」の成果が出ていることもあり、平成20年度に数校で試行し、効果や課題を検証し、子どもたちにとって、よりよい教育環境を整えていく。

(解説)

実は、私も自分の政策をつくるときに、「30人学級」について、スタッフと議論しました。

「30人学級」については、導入事例も増えてきており、とりわけ、埼玉県志木市では、行革を進め、25人学級を導入した事例もあったことから、浜松でも、是非、進めたいと考えていましたが、結果的にパンフレットには入れませんでした。

理由は、市長の解釈と同じです。「30人学級」はひとつの手段であり、要は「子どもたちにとって、よりよい教育環境を整えること」ができればよいわけです。

ハード・ソフトを含め財源の問題なども大きいことから、全ての小中学校に導入するのは、現実的には相当困難です。

まず、40人近いクラス編成になりそうなところで試行して、効果や課題を検証し、現在浜松が進めている「支援員・補助員」との比較をしていけばよいと思います。

6月議会では6人の議員から「教育施策」に関する質問が出され、“マニフェスト”の中でも、とりわけ「30人学級」をはじめとする「教育施策」への関心の高さがうかがわれました。

また、今議会では、「政令指定都市に係る県費負担教職員制度の見直しを求める意見書」「特別支援教育コーディネーターを教職員定数として措置することを求める意見書」の2つの教育施策にかかわる意見書を採択しました。

【最近のブログから・・・】

6/25(月)「佐鳴湖をきれいにする会」

今日、「佐鳴湖をきれいにする会」の総会が開催されました。

佐鳴湖については、これまでもたびたび記事にしてきましたが、初めてこうした会合に参加させていただき、行政の役割の重要さを、あらためて感じたところです。

会合には、自治会をはじめとする各種団体のみなさんや、市、県の担当部局などが参加しました。自治会関係者などからは、行政に対し、さまざまな要望が出されましたが、率直に言って、地域のみなさんの思いに比べて、行政の取り組み意識が、少し低いのではないかと感じました。

今日、出席した県会議員が、早速、「明日の(県議会)委員会」で当局に質問すると決意を述べていましたが、私も、「環境経済委員会」に所属しておりますので、今後、市民活動を踏まえて、市や県、そして国の果たすべき役割をしっかりと求めていきます。

植物も一生懸命がんばっているのですから(下)、行政もがんばらなきゃね～。

ご覧ください。田口のブログ《創ろう！元気な浜松》
<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>



政令市議会のホームページ(HP)から・・・

(参考)5・6月議会の質問者数
各市議会HPより

最近HPで、いろんな情報を得ることができます。浜松と同時に政令市となった新潟市でも、6月定例会が開催されました。私の知人の新人議員が一般質問するというので、HPを見てみました・・・、見てビックリ。なんと2日間で一般質問が23人(代表質問はナシ)。

浜松市議会では、3日間で代表質問6人、一般質問5人の計11人でしたから、進め方もずいぶん違うんでしょうね～。

ちなみに2月議会では、浜松市議会は代表質問4人、一般質問7人でしたが、新潟市議会は、代表質問8人、一般質問16人でした。定例会は年4回開催されますので、議会によって進め方が違うようです。

私も9月の一般質問に向けて準備を進めていきます！

議会	日程	人数
仙台	5日間	22
さいたま	2	20
千葉	6	23
新潟	2	23
静岡	3	22
浜松	3	11
広島	3	11
北九州	5	21
福岡	3	20

* その他の議会は不明

もう一度使えませんか？その“粗大ゴミ”



写真は平和処分場で“粗大ゴミ”を埋め立てているところです。

平和処分場では今年1月に火災事故があり、ゴミを細かく処理する「破碎処理施設」が壊れてしまい、現在、重機で踏み潰すだけで埋め立てている状況です。このため、埋め立て容積が従来の4倍近く必要となっており、燃えないゴミ・粗大ゴミの処理に支障が生じています。

6月議会の「環境経済委員会」では、この復旧工事について議論し、今後の再発防止対策も含め、9億8300万円の補正予算を組むことになりました。

そのうち7億3600万円は「借金」です。行財政改革が喫緊の課題の中、新たな借金をしなければならない事態は非常に残念です。

事故防止には、施設管理をしっかりやるが必要になりますが、今回のような事例を避けるためには、私たち市民にもできることがあります。

専門家に言わせると、浜松は「ゴミの質が悪い」そうです。今回の事故の原因ははっきりしていませんが、可能性のひとつとして、燃えないゴミに可燃物が入っていたことも否定できません。

分別回収のルールを守ることなど、私たちもできることをやらないといけませんね。

浜松市議会6月定例会が閉会しました。49年ぶりに「修正案」を議論したということは、議会にとって“一歩前進”だったのではないのでしょうか。他の議会では、議員提案条例も出されていますので、今後、こうした議論が進むような気がします。「修正案」が他党派から出されたことについては、ちょっと悔しい気もしますが、私も、常に意識を持ち続けたいと思います。

7月は会派で北九州～大分に視察に行く予定です。北九州は同じ工業都市の政令市、また、元民主党国会議員が、今年市長になったということで、浜松とちょっと似たところがあります。視察内容については、来月号で報告します。(章)

6月の主な活動

- 01(金) 全員協議会
- 03(日) 運動会(西都台小)
ふれあいウォーク(入野地区社協)
- 04(月) 議会報告会(高塚工場)
- 05(火) 議会報告会(金型センター)
- 06(水) 議会報告会(高塚工場)
- 07(木) 西区協議会傍聴
- 08(金) 本会議 環境経済委員会
入野地区自治会長会議
- 09(土) 入野中学校区青少年健全育成会総会
スズキ労連ヤングリーダー研修会
- 11(月) 議会報告会(本社)
- 12(火) 議会報告会(高塚工場)
- 13(水) 議会報告会(都田・南平老人クラブ)
- 14(木) 議会報告会(高塚工場・相良支部)
- 15(金) 全員協議会 本会議(代表質問)
- 16(土) 県教職員組合定期大会
- 17(日) 西地区社協福祉まつり
高塚支部潮干狩り
- 19(火) 本会議(代表・一般質問)
- 20(水) 本会議(一般質問)
- 21(木) 環境経済委員会
- 22(金) 総務委員会傍聴
- 23(土) ビーチフットボール東海大会
- 24(日) 入野地区凧揚げ会総会
- 25(月) 佐鳴湖をきれいにする会総会
- 26(火) 議会報告会(竜洋)
雄踏地域協議会傍聴
- 27(水) 新人議員市内視察
天竜区協議会傍聴
- 29(金) 全員協議会 本会議

7月の主な予定

- 01(日) 市政記念式典
- 02(月) 西区協議会傍聴
- 05(木) 都市計画審議会
- 06(金) 北区協議会傍聴
- 07(土) 参議院議員 池口修次 対話集会
- 08(日) スズキ労組年金セミナー
入野地区自治会長会議
- 11(水) スズキ友の会総会
- 12(木) 大都市制度調査特別委員会
- 20(金) 企業立地推進本部懇談会
- 21(土) ソミック石川夏まつり
- 23(月) 環境経済委員会市内視察
- 24(火)～26(木) 会派視察(九州)
- 26(木) スズキ労連労使会議
- 28(土) ヤマハリピングテック労組大会
- 29(日) 参議院選挙投票日
- 30(月) 環境経済委員会
- 31(火) 多文化共生シンポジウム